



新野 徳秋
代表取締役社長
第3セクター株式会社
三春まちづくり公社

「生活づくり」の視点から 三春町の「まちづくり」に貢献

○はじめに

三春町は、旧城下町の風情が残る「マチ」とそれを取り巻く自然豊かな「ムラ」で構成されています。何百年もの間、マチとムラの交流がこの町の生活を支える原点でした。

当社は、「21世紀の生活のあり方」を考える時、もう一度原点に戻って、マチとムラの関係を見直すことが重要であると考え、平成3年2月に発足した「三春の里振興公社」と平成5年3月に発足した「三春まちづくり公社」が平成25年7月に合併し、さらに平成26年12月に「三春町観光協会」が合流し、新たな歩みを創めました。

当社の事業概要と管理運営している主な施設について紹介いたします。

1 三春の里田園生活館

田園生活の楽しさ・豊かさを発見し普及することを目的に三春町が三春ダムの西隣に整備しました。「都会人には田園への憧れを、地域人には生活への活力を」という願いを込めて、この地域の伝統的な「農」と「暮らし」のなかにある新しい田園生活文化の可能性を追求し、それに基づいた生活提案を行うための拠点施設です。



三春の里田園生活館全景

(1) 農産物の利活用

「かご市」は地場産品の直売コーナーで、三春町及び周辺部の新鮮な農産物や加工品を販売しています。また、施設のレストラン・宴会の食材としても使用されています。



三春の里田園生活館本館直売所

(2) 農芸のすすめ

家庭菜園用の野菜苗の販売や堆肥の製造販売をしています。また、近くの農場では施設の食材調達のほか宿泊者による収穫体験も可能です。

(3) 食文化の普及

県内産の大豆を使った豆腐、油揚げや伝統食品である凍み餅の製造販売を行っています。また、味噌製造や餅つき等で施設を地域住民に開放しています。

(4) 工芸文化の継承

シルバー人材センターの工芸品や地元の陶芸家、手芸作家等の作品を展示・販売しています。

(5) 体験交流

宿泊・入浴・宴会により、田園景観の中でのくつろぎの場と機会を提供しています。また、5月は「野菜苗市」、7月は「夏まつり花火大会」、8月は「盆花市」、9月は「彼岸花市」、10月は「収穫祭」などの催事を開催し、農産物等の販売を促進しています。

2 みはる壱番館

「三春町中心市街地活性化基本計画」に基づき、商業軸の整備（歯抜けとなった商店街対策）を進めるために、自社で建設した地上5階、地下1階建ての商住一体型施設です。

(1) 情報発信

三春町の名産品の展示・販売、観光情報の提供・案内、憩いの場としての喫茶部門を併設した直営店「花かご」を開店しました。現在はヨークベニマル三春店の向かい「三春なかまち一ノ蔵」に移転しています。



みはる壱番館

(2) 街なか居住の推進

街なか居住は買い物や交通アクセスなど利便性が高いことから、3階から5階まで賃貸住宅9戸を管理運営し積極的に推進しております。

(3) テナントミックス

地下1階から2階まで、医院、薬局、化粧品店、コンピューター関連機器販売、美容院、学習塾、野菜直売所・うどん店など10店舗が入居し賑わい創出に寄与しています。

(4) その他

買い物客等の利便性を図るために無料のお休み処、公衆トイレ、お客様駐車場を併設しています。

3 みはる北町館

三春町内の医療環境で長い間不足していた診療科目（眼科）を誘致するため自社で建設した賃貸物件です。テナントとして開業医（眼科）が入居し、住民の健康維持に大きく貢献しています。

4 町有施設の指定管理等

(1) ばんとうプラザ

J R 三春駅舎に合築された町有施設内で軽食（そば、うどん、ラーメン等）の販売を行っています。また、平成18年度には三春駅構内の Kiosk が撤退したことに伴い、新聞・雑誌、たばこ、お土産、野菜、菓子のほか生活用品を取りそろえた「駅.com」を開設し J R 利用者の利便性向上に貢献しています。



三春なかまち蔵

(2) ふれあいの蔵、なかまちの蔵、きたまちの蔵

伝統的建築物である蔵を保全し街なみ景観の修景と、併せて商業テナントとしての利用により商店街の活性化に寄与することを目的に設置され、三春町から管理運営を受託しています。イタリアンレストラン、洋食店、土産物店、観光案内所が入居しています。

(3) コミュタン福島売店

福島県環境創造センター交流棟内に、来場者と職員へのサービスを目的として売店を出店しています。

(4) 定住促進住宅

三春町が取得した旧雇用促進住宅で、RC 造5階建て40戸が入居可能です。主に若者世代の定住を進めることを目的に管理運営を行っています。

(5) 桜学館

町内にある県立田村高等学校スポーツ課生徒の寄宿舎として三春町から管理運営を受託しています。

5 空き店舗対策事業

中心市街地の活性化を図るため空き店舗対策事業に取り組んでいます。

店舗所有者と事業者との調整をはじめ店舗改修費や家賃補助に関する業務をとおして、これまでに雑貨店、福祉事業所、洋食店、喫茶店、居酒屋、洋菓子店、イタリアンレストランなど多くの店舗の開店支援を行っています。

6 観光振興業務

「三春町観光協会」の合流により、それまで観光協会が担っていた業務を引き継ぎました。日本三大桜で福島県を代表する桜の名所「滝桜」の観光対策をはじめ、東北屈指と謳われた「三春盆踊り」、およそ300年前から続く新春恒例の「三春だるま市」、「三春大神宮祭礼」といった伝統行事の運営や支援を行っています。

また、町内の寺院10ヶ寺を巡って御祈祷された数珠玉を集めると、素敵なブレスレットが出来上がる「奥州三春数珠巡り」、三春滝桜の「御桜印」や三春城の「御城印」の頒布、日本三大駒「三春駒」をモチーフとしたキャラクターグッズの企画販売、観光案内所やレンタサイクルの運営など観光全般に関する業務を行っています。



奥州三春数珠巡り、御城印、御桜印

○最後に

現在、三春町ではアウトドアアクティビティによるまちづくりに取り組んでいます。

三春の里田園生活館に隣接して整備が進んでいる拠点施設には、アウトドア用品総合メーカーの(株)モンベル直営店が入居するほか、ビジターセンターや三春町出身の世界的登山家（故）田部井淳子さんの遺品展示スペースが整備されることになっています。さらに、三春ダム湖（さくら湖）の隣接地には、手ぶらでキャンプが楽しめるユニットキャンプ場やカヌー・カヤック場も整備される予定です。

これらの取り組みはアウトドアアクティビティ需要と新たな人の流れを生み出し、三春町はもちろん地域の経済活性化に大きく寄与するものと思われます。

少子高齢化や人口減少が進み地方消滅が声高に叫ばれています。これは見方を変えれば中央一極集中の問題ともいえます。地方と中央が相対するのではなく、それぞれが役割を担い交流し、お互いに持続可能な生活ができることが重要です。

当社は今後も様々な生活提案をとおして地域間交流を促進し、三春町の発展に貢献し、まちづくり会社として使命を果たしていきます。

皆様のご鞭撻をお願いします。